

事業所における自己評価結果 放課後等デイサービス (公表)

令和3年12月15日実施

事業所名 多機能型事業所 ふれも・しすい2 10/10 回収率100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	4	3	3	・施設が狭く保護者からのコメントもいただいています。が、蜜を避けるよう対策をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	3	4	・職員の配置を満たしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	5	・玄関の段差が気になるという意見が出ています。バリアフリーや段差への配慮を今後検討します。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2	5	・現状で職員周知のPDCAは今後の課題です。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	3	2	・アンケート調査の活用と、保護者との面談を実施し、意向の確認、業務の改善を図ります。
	⑥	この自己評価の結果を、事務所の会報やホームページ等に公開しているか	6	2	2	・今後ホームページに、評価表を公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	2	・年2回第三者委員会を開催し、業務改善の為の提案や意見を参考に職員と検討し業務改善につなげていきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1	0	・年間計画を立て、定期研修や内部の専門指導や検討を実施し、職員の専門性の向上に努めています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	3	0	・子どもの発達状況や課題、保護者のニーズを分析して支援計画作成に努めます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	5	・必要な検査の検討、アセスメントツールの導入も検討しています。今後は積極的に取り入れていきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	2	・チームで支援を実施するため、実態に合わせ話し合いの機会を持ち、立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1	0	・実態を把握し、課題や興味に合わせた教材を選びその都度プログラムの内容を検討しながら進めています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	6	1	・課題工夫を要する長期休暇などは、実態・状況に応じて課題変更なども今後は検討していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	3	0	・利用者の実態に応じ、必要な個別支援と集団支援を取り入れた計画作成を行うようにしています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	5	0	・打合せや支援準備は実施し支援内容や役割を確認するようにしています。振り返りの時間確保は今後、支援向上のため確実にできるよう努めていきます。また、連絡ノートを活用し、情報共有と伝達ができるようにしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	7	1	・徹底して行うようにしており、次の支援のためにも明記するようにしています。保護者への伝達も行い意見を記載し支援検討・改善を図るようにしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	3	0	・徹底して行うようにしており、次の支援のためにも明記するようにしています。保護者への伝達も行い意見を記載し支援検討・改善を図るようにしています。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	5	1	・定期のモニタリングを行い、計画見直しなど行うようにしていきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	6	2	・対象利用者にとって社会性の向上につながるような活動を取り入れるようにしていきます。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	6	1	・管理者・担当指導員が参加するようにしています。また、事業所内での情報共有に努めます。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	4	1	・送迎は行っていません。依頼があれば行きます。今後は連携・連絡も行っていく予定にしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連携体制を整えているか	1	5	3	・現在は医療的ケアが必要な利用者はいませんが、今後は受け入れも検討しています。 ・職員も必要に応じ研修や指導を受け、主治医との連携や受け入れ体制を整備していきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	6	1	・現状はしていないが、今後は必要に応じて連携を取り、支援向上に努めていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	6	1	・現状では例がないが、将来的に対応を求められると思われる。例が発生した場合、児童、生徒の支援内容を提供し、スムーズな移行ができるよう連絡・連携に努めます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	5	・今後、外部の専門研修などを検討しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	6	・利用児殆どが通常学校に通学し、事業所外での交流をしています。今後は、計画を検討していきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	5	4	・今後、努力してまいります。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1	1	・支援終了後、子どもの状況や課題を伝えるようにしています。今後さらに相談の機会の確保や必要に応じて事業所内相談等を活用していきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援をおこなっている	4	4	2	・支援時に保護者の悩みや課題に寄り添いながら助言や支援を行っています。日々の悩みや不安の解決に努めるようにしています。
関係機関や保護者との連携	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1	0	・契約時に説明を行い、不明点には丁寧に伝えるよう努めています。活動方針等も伝え、理解を得るようにしています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	1	0	・事業所来所時に対応もしくは電話での相談を実施しています。必要に応じて話し合いや、関係機関とも連携し、支援しています。

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3	2	・7月と12月に保護者会を実施しました。年2回、実施を計画しています。参加できなかった各保護者にはマチコミメールで内容を伝達しました。保護者会が、保護者間の支援となるよう今後も機会の確保に努めます。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	2	・迅速に対応、傾聴し解決に努めるようにしています。専門職の確保など、苦情や要望に積極的に対応できるようにしていきます。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	4	0	・月1回”ぶれもだより”を発行・配布しています。 ・マチコミ(連絡ツール)を使用しメール発信も行っています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8	2	0	・個人情報管理・プライバシーについては十分に配慮しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	2	0	・保護者の思いに寄り添い、配慮し相談対応するようにしています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6	2	・今後は地域への発信や交流事業も検討していきます。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	5	0	・保護者への周知徹底はできていない現状があります。緊急マニュアル等を設置し、保護者の方に書面や図で、掲示・表示も解りやすくなるよう努めます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1	0	・月に1回、必ず避難訓練を実施しています。児童利用時の避難訓練も実施し、災害・救助への意識を高めるようにしています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	3	0	・虐待防止マニュアルを作成し、職員への周知と研修を計画に盛り込み、確実に機会の確保を行います。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	6	1	・支援時に、非社会的な行動をした場合には指導を要すことを保護者へ伝達しています。事業所内での身体拘束の例はありませんが、今後研修やマニュアルの整備を行います。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	8	0	・食事の提供はありません。相談があった場合には対応を予定しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	3	0	・ヒヤリハット用紙や記録を作成し、職員で情報共有し、事故防止に努めるようにしています。